

# はじめに

---

## PRIMERGY

### OS インストールタイプについて

このたびは、弊社の PRIMERGY をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本インストールタイプには、Microsoft® Windows® 2000 Server (以下、Windows 2000 Server と略記します) または Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0 (以下、Windows NT Server と略記します) がインストールされています。OS のセットアップは、運用されているネットワークに接続して行う必要がありますので、必ずシステム管理者本人が行うか、システム管理者の指示に従ってください。

また、本インストールタイプのセットアップは、本体に添付されている『取扱説明書』、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』、『ファーストステップガイド』などのマニュアルを熟読の上、実施してください。

2002 年 6 月

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2002

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

# 目次

---

1. OS インストールタイプの開封 .....	1
2. 開封作業 .....	3
2.1 開封手順 .....	3
3. Windows 2000 Server のセットアップ .....	4
3.1 セットアップの開始 .....	4
3.2 セットアップ後の状態 .....	12
3.3 システム修復ディスクの作成 .....	12
3.4 セットアップ後の設定 .....	13
3.5 サービスパックの適用 .....	14
3.6 Windows 2000 Server の再インストール .....	14
4. Windows NT Server のセットアップ .....	17
4.1 セットアップの開始 .....	17
4.2 セットアップ後の状態 .....	30
4.3 システム修復ディスクの作成 .....	31
4.4 セットアップ後の設定 .....	32
4.5 サービスパックの適用 .....	33
4.6 Windows NT Server の再インストール .....	34
付録 .....	36
付録 1 メモリダンプについて .....	36
付録 2 セットアップディスクの作成 .....	37

# 1. OS インストールタイプの開封

---

OS インストールタイプの開封作業の流れについて説明します。開封作業とは、インストールタイプでの OS のセットアップ作業です。

ここでは、本サーバにインストールされている OS と、開封作業の進め方について説明します。

## ■ インストールされている OS について

本サーバには、以下のいずれかの OS がインストールされています。

- ・ Windows 2000 Server
- ・ Windows NT Server

## ■ 開封作業の進め方

開封作業には、簡易セットアップツール（ServerWizard または ServerStart）※ を使用する方法と、使用しない方法があります。簡易セットアップツールを使用して開封作業を行うと、自動でセットアップを行うことができます。

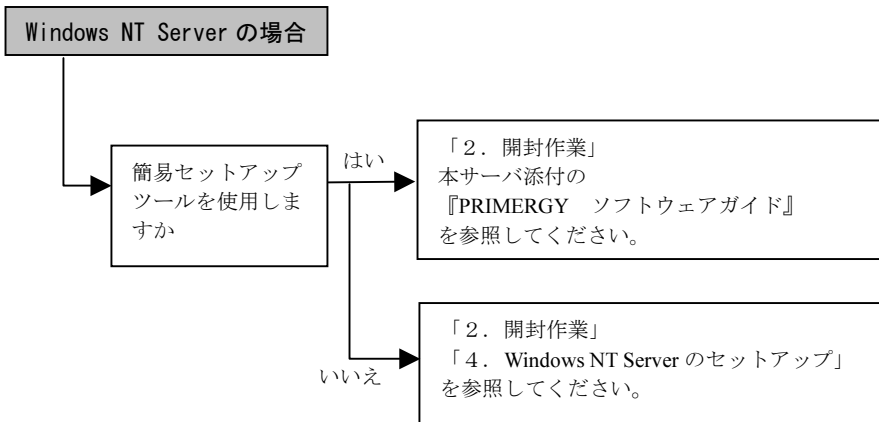
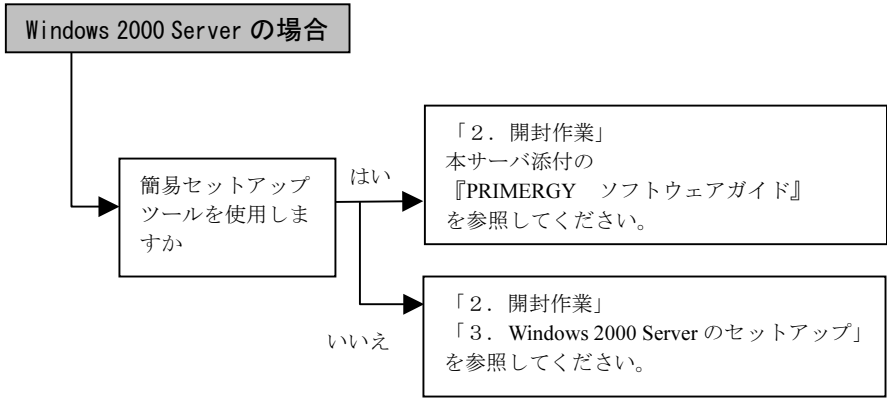
※ 簡易セットアップツールとは、本体に添付されている ServerWizard または ServerStart のことです。



### ポイント

簡易セットアップツールを使用して開封作業を行うことをお勧めします。次の図に従って開封手順を決定してください。

開封作業を行う前に添付の『取扱説明書』、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』、『ファーストステップガイド』をご一読ください。



## 2. 開封作業

---

インストールタイプの開封手順について説明します。

### ■開封作業前の注意

インストールタイプ購入時のハードウェア構成を変更する場合、開封作業をして、OS のセットアップが完了してから行ってください。

### ■開封作業時の注意

開封作業中、特に指示がない場合は、フロッピーディスクまたは CD-ROM を挿入しないでください。

### 2.1 開封手順

一度ハードディスクから起動を行うと、簡易セットアップツールを使用して開封作業を行うことができなくなります。

- 簡易セットアップツールを使用して開封作業を行う場合(推奨)  
詳しくは、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』を参照してください。

**注意** 簡易セットアップツールを使用して開封作業を行う場合、サーバの電源投入直後に、必ず簡易セットアップツールの CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。

- 簡易セットアップツールを使用せずに開封作業を行う場合  
サーバの電源を投入します。

## 3. Windows 2000 Server のセットアップ

---

簡易セットアップツールを使用しない場合の Windows 2000 Server のセットアップについて説明します。操作の詳細については、『ファーストステップガイド』を参照してください。

### ■ セットアップ前の注意

インストールタイプ購入時のハードウェア構成を変更する場合、開封作業をして、OS のセットアップが完了してから行ってください。

### 3.1 セットアップの開始

#### (1) Windows 2000 Server セットアップの開始

最初に NTFS へのファイルシステムの変換が行われ、再起動後、Windows 2000 Server セットアップが自動的に始まります。

## (2) ライセンス契約の同意

次のウィンドウが表示されます。



**注意** ライセンス契約画面では、必ず「同意します」を選択してください。

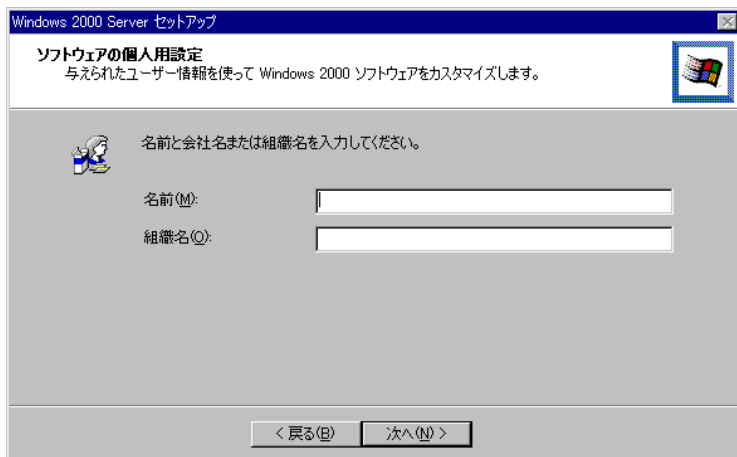
「同意しません」を選択した場合、セットアップがキャンセルされます。セットアップを一度キャンセルすると、セットアップを行うたびにシステム区画サイズが2GB ずつ大きくなり、元のサイズに戻すことができません。また、再度セットアップを起動しても設定できない項目があります。

【Page Down】キーでウィンドウをスクロールし、「ライセンス契約」をよくお読みください。

[同意します]をチェックし、[次へ]をクリックします。

### (3) ソフトウェアの個人用設定

次のウィンドウが表示されます。名前と組織名を入力し、[次へ]をクリックします。  
組織名は省略可能です。



### (4) プロダクト キーの入力

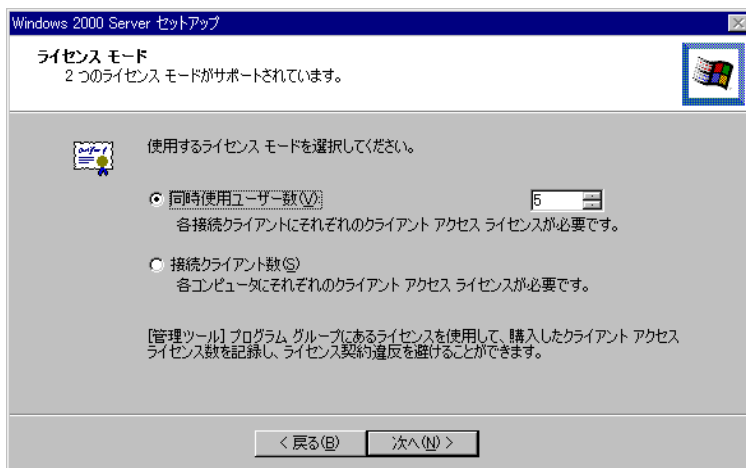
次のウィンドウが表示されます。「Certificate of Authenticity」のバーコード上に印刷されている 25 文字の番号(プロダクト キー)を入力し、[次へ]をクリックします。





## (5) ライセンス モードの確認

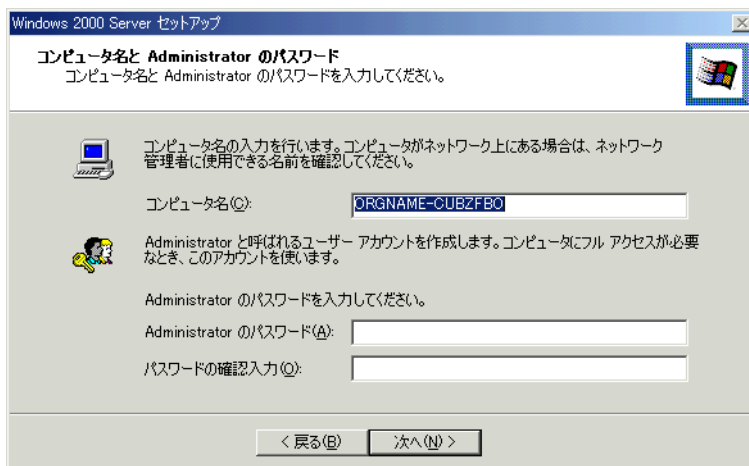
次のウィンドウが表示されます。ここでは設定を変更せず、[次へ]をクリックします。



## (6) コンピュータ名と Administrator(管理者)のパスワード入力

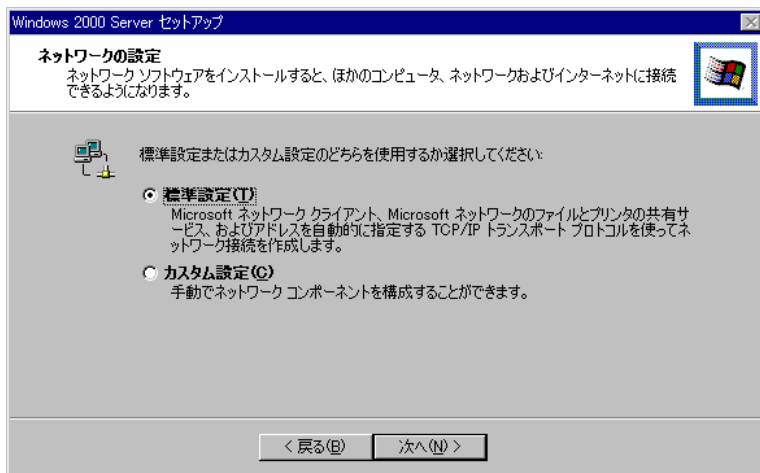
次のウィンドウが表示されます。

「コンピュータ名」には自動的に作成された名前が表示されていますが、変更可能です。「コンピュータ名」と「Administrator のパスワード」を入力し、[次へ]をクリックします。



## (7) ネットワークの設定

次のウィンドウが表示されます。



ネットワークの設定は、あらかじめ搭載されている LAN アダプタ全てに対して以下のように設定されています。

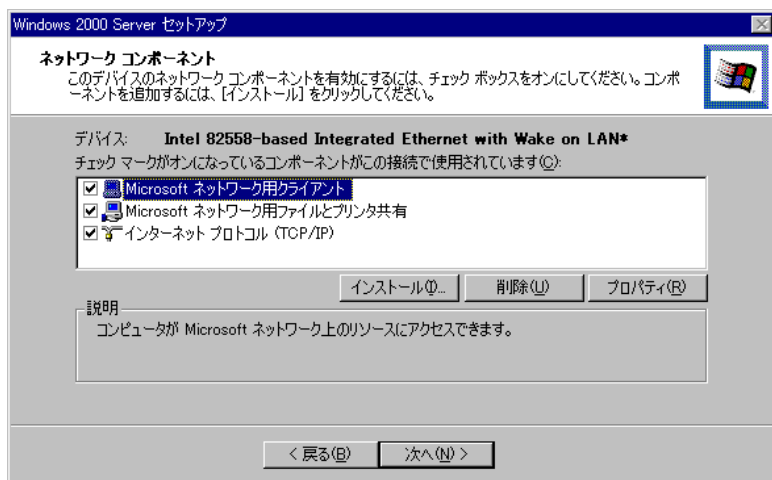
項目	説明
クライアント	Microsoft ネットワーク用クライアント
サービス	Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
プロトコル	インターネットプロトコル (TCP/IP) IP アドレス：DHCP サーバーなどから自動的に取得します。

上記の設定でセットアップを行う場合、[標準設定]を選択した状態で、[次へ]をクリックして、手順(9)へ進んでください。

この設定を変更してセットアップを行う場合、[カスタム設定]をクリックし、[次へ]をクリックして、手順(8)へ進んで設定を変更してください。

## (8) ネットワーク コンポーネントの設定

次のウィンドウが表示されます。



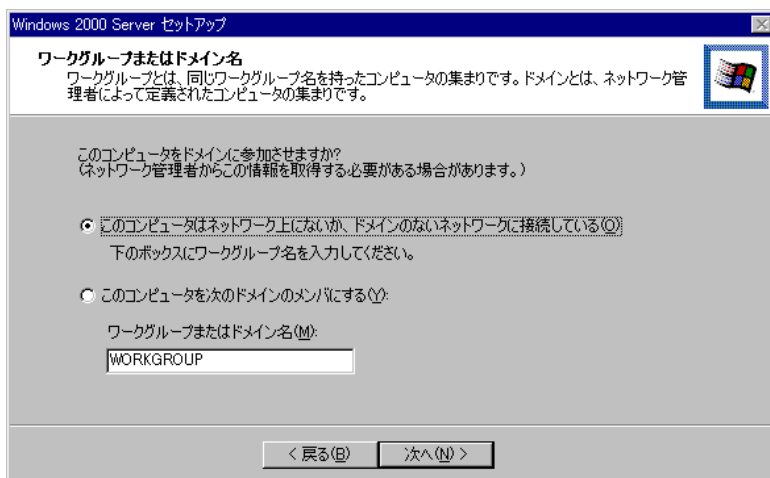
この画面では、次の操作ができます。

- ネットワーク コンポーネントを追加  
[インストール]をクリックします。表示されたウィンドウの説明に従ってコンポーネントの追加を行ってください。
- ネットワーク コンポーネントの削除  
削除するネットワーク コンポーネントを選び、[削除]をクリックします。
- ネットワーク コンポーネントの設定  
設定を行うネットワーク コンポーネントを選び、[プロパティ]をクリックします。表示されたウィンドウの説明に従ってコンポーネントの設定の変更を行ってください。

上記設定の詳細については『ファーストステップガイド』を参照してください。  
設定完了後、[次へ]をクリックします。複数の LAN アダプタを搭載しているコンピュータでは、搭載した LAN アダプタ毎に上記の設定を行う必要があります。

## (9) ワークグループまたはドメイン名の設定

次のウィンドウが表示されます。



**注意** [次へ] をクリックすると、セットアップ内容が確定します。  
[戻る] をクリックしても以前に設定した内容を更新できなくなる  
るので、[次へ] をクリックする前に、ここまで設定した内容に誤  
りがないか、もう一度ご確認ください。

設定を行い、[次へ]をクリックします。

このコンピュータをドメイン コントローラにする場合は、セットアップ完了後  
「サーバーの構成」ウィンドウで行います。詳細については Windows 2000  
Server のオンライン ヘルプを参照してください。

## (10) セットアップの完了

次のウィンドウが表示されます。[完了]をクリックします。



以上で Windows 2000 Server セットアップは終了です。

## 3.2 セットアップ後の状態

Windows 2000 Server セットアップが終了した時点での本サーバの環境は次のとおりです。お使いのネットワーク環境などに合わせて、設定を変更してください。

項目	説明
インストールドライブ	C ドライブ
ドライブの容量	4GB (C ドライブ)
ファイルシステム	NTFS
ディレクトリ名	WINNT
ディスプレイの設定 (解像度/色数)	800×600 ピクセル/High Color(16 ビット)
保守区画 (メンテナンス区画)	保守区画のサイズ: 100MB または 150MB 保守サポートサービスをご利用される場合は、保守区画が必要となります。詳細は、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』を参照してください。
備考	・インターネット インフォメーション サービス(IIS) 関連はインストールされていません。

## 3.3 システム修復ディスクの作成

Windows 2000 Server セットアップ後に、「システム修復ディスク」を作成してください。万が一、Windows 2000 システムファイル、ブートパーティションセクタ、および起動環境に損傷を受けた場合、システム修復ディスク上に保存した情報を使ってこれらを再構築できます。システムの修復方法については、Windows 2000 Server のオンライン ヘルプを参照してください。

- (1) フォーマットされた空の 3.5 インチ、1.44 MB のフロッピーディスクを 1 枚(購入してください) 用意します。フロッピーディスクに「システム修復ディスク」というラベルを貼ります。
- (2) [スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[バックアップ]をクリックし、[バックアップ]を開きます。

- (3) [ウィザード] タブー [システム修復ディスク] をクリックします。
- 後は、画面に表示される指示に従って操作を行ってください。

## 3.4 セットアップ後の設定

これまでの作業で基本的な設定は完了していますが、運用に入る前に以下の設定を行ってください。操作の詳細については、『ファーストステップガイド』、Windows 2000 Server のオンライン ヘルプを参照してください。

### (1) イベントログの削除

[管理ツール]の[イベントビューア]を起動し、[操作]メニューの[すべてのイベントを消去]を選択して、イベントログを削除します。

### (2) ユーザライセンスの追加

本 Windows 2000 Server タイプでは、Windows 2000 Server のライセンスモードを「同時使用ユーザ数:5」に設定してあります。

ユーザライセンスを追加する場合には、[コントロール パネル]の[ライセンス]を起動して設定を行います。操作の詳細については『ファーストステップガイド』、Windows 2000 Server のオンライン ヘルプを参照してください。

その際、「Windows 2000 Server クライアント アクセス ライセンス」を別途購入する必要があります。

### (3) サーバーの構成

Windows 2000 を起動し、ログオン後、画面に「サーバーの構成」ウィンドウが表示され、サーバーの詳細な構成を簡単に実行できます。

また、「サーバーの構成」はいつでも実行できます。このプログラムを実行するには、[スタート]－[プログラム]－[管理ツール]－[サーバーの構成]をクリックします。その他の構成ツールも[管理ツール]から利用できます。

#### (4) 各種管理ソフトウェアのインストール

各種管理ソフトウェア(SCSI アレイコントローラカード管理ツール／サーバ監視ソフト／TapeMaintenance Checker など)のインストールについては、添付の『取扱説明書』、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の手順に従って行ってください。

#### (5) 各種アプリケーションのインストール

各種システム診断支援ツール(FM Advisor/PROBEPRO/DSNAP)のインストールを行います。アプリケーションのインストールは、添付の『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の手順に従って行ってください。

### 3.5 サービスパックの適用

本体に添付されている Windows 2000 Server のパッケージには、修正モジュールを組み込むためのサービスパックが同梱されています。また、インストールタイプはサービスパックをインストールしています。このサービスパックより新しいサービスパックが提供されている場合には、サービスパックの README.TXT を参照の上、インストールしてください。

### 3.6 Windows 2000 Server の再インストール

これまでの操作の途中で、システムに影響のあるミスがあった場合などには、Windows 2000 Server の再インストールが必要になります。

#### ■ 用意するもの

- ・ Windows 2000 Server CD-ROM
- ・ Windows 2000 Service Pack
- ・ 簡易セットアップツール(ServerWizard または ServerStart)の CD-ROM
- ・ 『ファーストステップガイド』
- ・ サーバ本体添付の『取扱説明書』
- ・ サーバ本体添付の『PRIMERGY ソフトウェアガイド』



## ■ メンテナンス区画の作成

サーバ保守用アプリケーションをインストールするためのメンテナンス区画を、簡易セットアップツールの CD-ROM から作成します。

メンテナンス区画から本サーバを起動することによって、各ユーティリティを利用できます。

また、保守サポートサービスをご利用される場合は、メンテナンス区画が必要となります。詳細は、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』を参照してください。



### ポイント

再インストールを行う場合で、かつメンテナンス区画を作成しない場合は、プレインストールされているメンテナンス区画を削除してください。メンテナンス区画の削除方法については、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』を参照してください。

## ■ Windows 2000 Server のインストールについて

Windows 2000 Server のインストールについては、『ファーストステップガイド』を参照し、必ず本体に添付の『取扱説明書』のソフトウェアのインストール、または、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の手順に従ってください。

## ■ OEM 情報のインストール

サポート窓口などの情報を見るためには、OEM 情報のインストールが必要です。以下の手順で OEM 情報をインストールしてください。

CD-ROM ドライブを D に設定している環境を前提に説明しています。ご使用の環境に合わせて読み替えてください。

- (1) CD-ROM ドライブに簡易セットアップツールの CD-ROM をセットします。
- (2) [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンド プロンプト] をクリックします。

(3) 次のように入力し、それぞれ【Enter】キーを押します。

d:

oemcopy

画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。



#### ポイント

インストールしたサポート情報は、以下の手順で見ることができます。

- 1) [スタート] – [設定] – [コントロールパネル] をクリックします。
- 2) 「システム」をダブルクリックし、起動させます。
- 3) 「全般」タブの [サポート] 情報をクリックすると、サポート情報を見ることができます。

## ■ 各種アプリケーションのインストール

各種システム診断支援ツール(FM Advisor/PROBEPRO/DSNAP)のインストールを行います。アプリケーションのインストールは、添付の『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の手順に従って行ってください。

## 4. Windows NT Server のセットアップ

---

簡易セットアップツールを使用しない場合の Windows NT Server のセットアップについて説明します。操作の詳細については、『ファーストステップガイド』を参照してください。

### ■ セットアップ前の注意

インストールタイプ購入時のハードウェア構成を変更する場合、開封作業をして、OS のセットアップが完了してから行ってください。

### 4.1 セットアップの開始

#### ■ セットアップ時の注意

ネットワークアダプタの組み込み画面で本体に添付のドライバを手動で組み込む必要があります。オンボード LAN に対応したドライバを本体添付のマニュアルに従い、事前に作成しておいてください。このときに、ネットワークアダプタの自動検出を行うとシステム異常が発生しセットアップを続行できなくなることがあります。

#### (1) Windows NT Server セットアップの開始

Windows NT Server セットアップが自動的に始まります。

## (2) ソフトウェア使用許諾契約の同意

次の画面が表示されます。

【Page Down】キーでウインドウをスクロールし、「使用許諾契約」をよく読み、[同意します]をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約	
次の使用許諾契約をお読みください。PageDownキーを使ってスクロールしてください。	
<div>MICROSOFT(R) Windows NT(R) Server Version 4.0 クライアントアクセスライセンス数;印刷された使用許諾契約書を参照 最大プロセッサ数;印刷された使用許諾契約書を参照 使用許諾契約書</div> <div>重要—以下の使用許諾契約書を注意してお読みください。本使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます)はお客様(個人または法人であるかを問いません)と上記に示されたマイクロソフトソフトウェア製品(以下「本ソフトウェア製品」または「本ソフトウェア」といいます)とともに入手された特定のコンピュータシステム(以下「本コンピュータ」といいます)に製造者(以下「PC製造者」といいます)</div>	<div>△</div> <div>▽</div>
使用許諾契約に同意されますか? [同意しません]を選ぶとセットアップを中止します。Windows NTをインストールするには、この契約への同意が必要です。	
<div>同意します (A)</div> <div>同意しません (D)</div>	


## (3) 名前・組織名の入力

名前と組織名を入力し、[次へ]をクリックします。組織名は省略可能です。

Windows NT Server セットアップ	
<div></div>	<b>名前と組織名</b>
	次のボックスに氏名を入力してください。会社などの組織の名前も指定できます。
	入力された情報は、Windows NT のインストールの特定に使われます。
	名前 (M): <input type="text"/>
	組織名 (O): <input type="text"/>
<div>&lt; 戻る (B)</div> <div>次へ (N) &gt;</div>	

#### (4) プロダクト ID の登録

「Microsoft Windows NT Certificate of Authenticity」のバーコード上に印刷されている番号(プロダクト ID)を入力します。


Windows NT Server セットアップ	
	<b>登録</b>  20桁のプロダクトIDを入力してください。プロダクトIDは、Certificate of Authenticityに記載されています。  プロダクトID(P): <input type="text"/> <div><input type="text"/> - OEM - <input type="text"/> - <input type="text"/></div>
	<div>&lt; 戻る(B)    次へ(N) &gt;</div>

**注意** [次へ]をクリックする前に、ここまでの入力内容が正しいか確認してください。次に表示される画面で[戻る]をクリックしても上記の画面に戻れません。

[次へ]をクリックします。


#### (5) コンピュータ名の入力

コンピュータ名を入力し、[次へ]をクリックします。

Windows NT Server セットアップ	
	<b>コンピュータ名</b>  Windows NTでは、使用するコンピュータを識別するためにコンピュータ名が必要です。15文字以下(半角の場合)の名前を入力してください。  注: ネットワーク上で一意の名前を入力しなければなりません。よくわからない場合は、ネットワーク管理者に相談してください。  コンピュータ名(M): <input type="text"/>
	<div>&lt; 戻る(B)    次へ(N) &gt;</div>


## (6) サーバーの種類を選択

次の画面が表示されます。そのまま[OK]をクリックしてください。

エラー		✕
	システム管理者またはコンピュータの製造元によって指定されたセットアップパラメータが、存在しないかまたは無効です。この情報を入力するよう求められます。	
	必要な情報を入力すると、無人セットアップは続行します。	
	システム管理者またはコンピュータの製造元に“advservertype”の値が存在しないかまたは無効であることを報告してください。	
<div>OK</div>		

サーバーの種類を選択する画面が表示されます。

インストールするサーバーの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

Windows NT Server セットアップ	
	<b>サーバーの種類</b> このサーバーの種類を選択してください。  <input checked="" type="radio"/> プライマリドメインコントローラ(P) <input type="radio"/> バックアップドメインコントローラ(K) <input type="radio"/> スタンドアロンサーバー(S)
	<div>&lt; 戻る(B)    次へ(N) &gt;</div>

## (7) 管理者アカウントの登録

管理者(administrator)のパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

Windows NT Server セットアップ

### 管理者アカウント

管理者アカウントで使用する14文字以下のパスワードを入力してください。[パスワードの確認入力]ボックスにもう一度パスワードを入力してください。

管理者アカウントでは、コンピュータのリソースのほとんどのアクセスを行うことができます。したがって、管理者パスワードの管理には十分な注意が必要です。

注: 入力するパスワードを忘れないようにしてください。パスワードは、~~メモ~~して安全な場所に保管しておいてください。パスワードに全角文字を使用することはできません。

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

< 戻る(B)

次へ(N) >

## (8) Windows NT ネットワークのインストール

ネットワークインストールの開始を確認する画面が表示されます。

Windows NT Server セットアップ

### Windows NT セットアップ

Windows NT ネットワークをインストールします。続行する前に設定を確認または変更する場合は、[戻る]をクリックしてください。

[次へ]をクリックするとWindows NTネットワークをインストールします。

< 戻る(B)

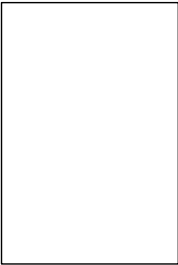
次へ(N) >

**注意** [次へ]をクリックする前に、ここまでの入力内容が正しいか確認してください。次に表示される画面では、[戻る]がグレイアウトしており、上記の画面に戻れません。

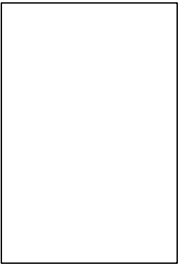
[次へ]をクリックします。

## (9) ネットワークへの参加方法の選択

手順(6)でプライマリ ドメインコントローラまたはバックアップ ドメインコントローラを選択した場合には、以下の画面が表示されます。「ネットワークに接続」を選択し、[次へ]をクリックします。

Windows NT Server セットアップ	
	このコンピュータをネットワークに参加させる方法を指定してください。
	<p><input checked="" type="checkbox"/> ネットワークに接続 (W): コンピュータは、ISDNアダプタまたはネットワークアダプタによってネットワークに接続します。</p> <p><input type="checkbox"/> ネットワークにリモートアクセス (R): コンピュータは、モデムを使ってネットワークにリモート接続します。</p>
<div>&lt; 戻る (B)      次へ (N) &gt;</div>	

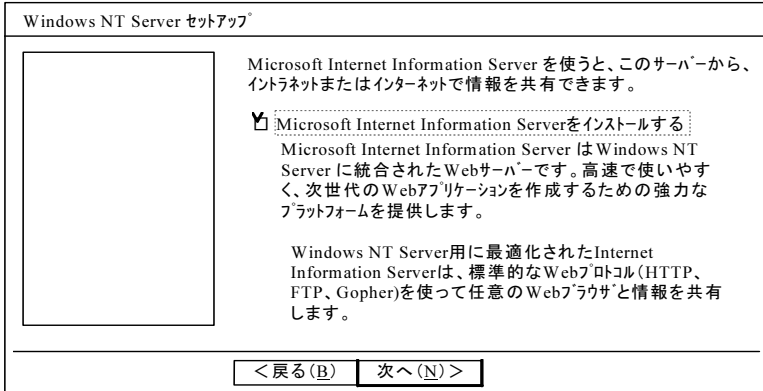
手順(6)でスタンドアロンサーバーを選択した場合には、以下の画面が表示されます。「ネットワークに参加する」を選択し、「ネットワークに接続」をチェックし、[次へ]をクリックします。

Windows NT Server セットアップ	
	このコンピュータをネットワークに参加させる方法を指定してください。
	<p><input type="radio"/> まだネットワークに接続しない (D)</p> <p><input checked="" type="radio"/> ネットワークに参加する (I)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ネットワークに接続 (W): コンピュータは、ISDNアダプタまたはネットワークアダプタによってネットワークに接続します。</p> <p><input type="checkbox"/> ネットワークにリモートアクセス (R): コンピュータは、モデムを使ってネットワークにリモート接続します。</p>
<div>&lt; 戻る (B)      次へ (N) &gt;</div>	



## (10) Microsoft Internet Information Server のインストール

インストールする場合には、[Microsoft Internet Information Server をインストールする]を指定し、[次へ]をクリックします。

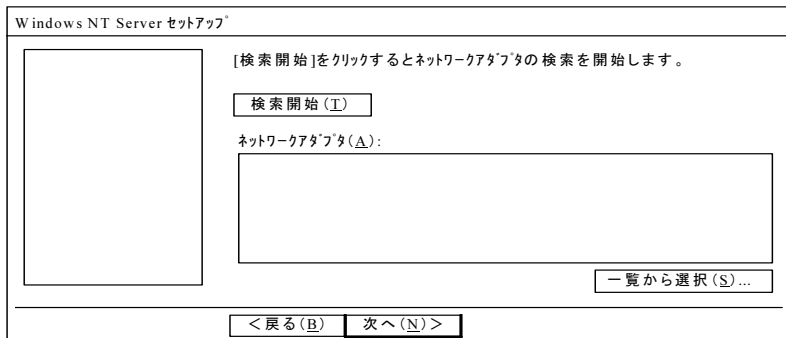


## (11) ネットワーク アダプタカードの組み込み

次の画面が表示されます。

本体に添付されているフロッピーディスクから、LAN ドライバを組み込みます。

LAN ドライバの組み込み方法については、本体に添付の『取扱説明書』を参照してください。



**注意** 「検索開始」は絶対に選択しないでください。「検索開始」を選択すると致命的なエラーが発生する場合があります。致命的なエラーが発生した場合、再インストールを行ってください。

## (12) ネットワーク プロトコルの組み込み

インストールするプロトコルを選択し、[次へ]をクリックします。Microsoft Internet Information Server をインストールした場合には TCP/IP は必須です。

Windows NT Server セットアップ

ネットワークで使用するネットワーク・プロトコルを選択してください。不明な場合は、システム管理者に相談してください。

ネットワーク・プロトコル(P):

<input checked="" type="checkbox"/>	TCP/IP プロトコル
<input checked="" type="checkbox"/>	NWLink IPX/SPX 互換トランスポート
<input type="checkbox"/>	NetBEUI プロトコル

一覧から選択(S)...

< 戻る(B)    次へ(N) >

## (13) ネットワークサービス選択

[次へ]をクリックします。

Microsoft Internet Information Server をインストールした場合は、[Microsoft Internet Information Server 2.0]が表示されます。

Windows NT Server セットアップ

次の一覧には、システムによってインストールされるサービスが示されています。  
[一覧から選択]をクリックすると、この一覧に追加できます。

ネットワークサービス(E):

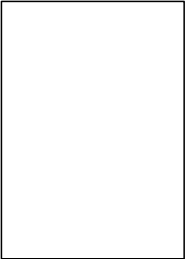
<input checked="" type="checkbox"/>	Microsoft Internet Information Server 2.0
<input checked="" type="checkbox"/>	RPC 構成
<input checked="" type="checkbox"/>	NetBIOS インターフェイス
<input checked="" type="checkbox"/>	ワークステーション
<input type="checkbox"/>	サーバー

一覧から選択(S)...

< 戻る(B)    次へ(N) >


## (14) ネットワーク コンポーネントのインストール

[次へ]をクリックします。

Windows NT Server セットアップ	
	<p>選択されたネットワークコンポーネントとシステムに必要なネットワークコンポーネントをインストールします。</p> <p>それぞれのコンポーネントを正しくインストールするために、必要に応じてダイアログが表示されます。</p> <p>[次へ]をクリックすると選択されたコンポーネントをインストールします。 選択を変更するには[戻る]をクリックしてください。</p>
<div><input type="button" value="戻る(B)"/> <input type="button" value="次へ(N) &gt;"/></div>	

ネットワーク プロトコルに TCP/IP をインストールした場合には、次の画面が表示されます。

DHCP サーバを使用する場合には、[はい]をクリックします。

TCP/IPセットアップ	
	<p>ネットワーク上にDHCPサーバーがある場合は、動的にIPアドレスを提供するようにTCP/IPを構成することができます。不明な場合は、システム管理者に問い合わせてください。DHCPを使用しますか？</p>
<div><input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いいえ(N)"/></div>	

IP アドレス／サブネットマスクなどを設定し、[OK]をクリックします。

このとき、複数の LAN カードを搭載している場合には、各 LAN カードに設定が必要となります。

Microsoft TCP/IPのプロパティ

IPアドレス	DNS	WINSアドレス	HTTPプロキシ	ルーティング
<p>DHCPサーバーからIPアドレスを取得し、このネットワークアダプタカードに自動的に割り当てることができます。ネットワークにDHCPサーバーがない場合は、ネットワーク管理者にアドレスを問い合わせ、そのアドレスを下のボックスに入力してください。</p> <p>アダプタ (P):</p> <div> <span>1 Intel 82557-based 10/100 Ethernet PCI Adapter</span> <span>▽</span> </div> <p> <input type="radio"/> DHCPサーバーからIPアドレスを取得する (O)  <input checked="" type="radio"/> IPアドレスを指定する (S)         </p> <div> <p>IPアドレス (I): <input type="text"/></p> <p>サブネットマスク (U): <input type="text" value="255 . 255 . 0 . 0"/></p> <p>デフォルトゲートウェイ (G): <input type="text"/></p> </div> <p style="text-align: right;">詳細 (D) ...</p>				
<div> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="適用 (A)"/> </div>				

## (15) ネットワークのバインド

[次へ]をクリックし、ネットワークのバインドを行います。

Windows NT Server セットアップ

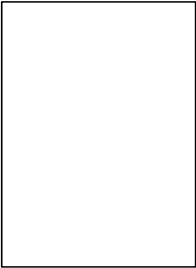
ここでは、ネットワークのバインドを無効にしたり、このコンピュータがネットワーク上で情報を見つける順序を変えることができます。

バインドの表示 (S): すべてのサービス ▾

☒ NetBIOSインターフェイス  
☐ ...サーバー  
☐ ...ワークステーション


## (16) ネットワークの起動

[次へ]をクリックし、ネットワークを起動します。


Windows NT Server セットアップ <sup>®</sup>	
	ネットワークを起動する準備が整いました。
	[次へ]をクリックするとネットワークを起動します。 実行中のネットワークを停止するには、[戻る]をクリックしてください。
<div>&lt; 戻る (B)      次へ (N) &gt;</div>	

## (17) ドメイン、サーバーの指定

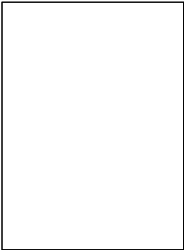
手順(6)で「プライマリ ドメインコントローラ」を選択した場合には、ドメインコントローラが管理するドメイン名を指定します。ここで指定するドメイン名は、ネットワーク上で一意である必要があります。

Windows NT Server セットアップ <sup>®</sup>	
	プライマリドメインコントローラの作成を要求しました。
	このプライマリドメインコントローラが管理するドメインの名前を指定する必要があります。
コンピュータ名 (C) : <input type="text"/>	
ドメイン (D) : <input type="text"/>	
<div>&lt; 戻る (B)      次へ (N) &gt;</div>	

手順(6)で「バックアップ ドメインコントローラ」を選択した場合には、ネットワーク上で動作中のプライマリ ドメインコントローラのドメイン名を指定します。

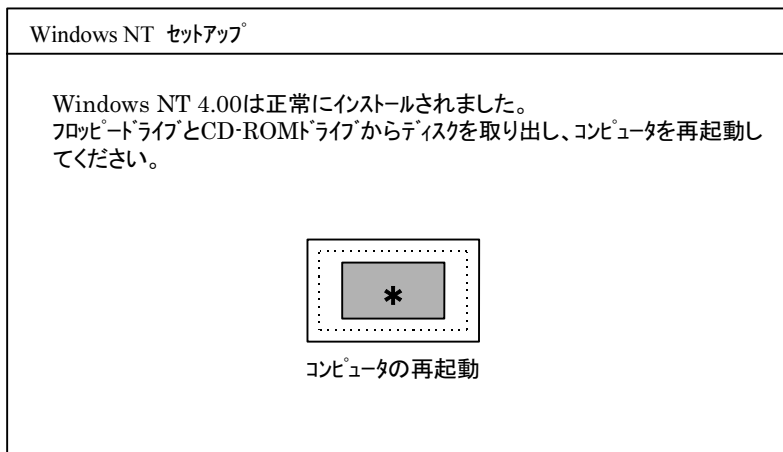
Windows NT Server セットアップ	
	バックアップドメインコントローラの作成を要求しました。
	このバックアップドメインコントローラが参加するドメインの名前、およびそのドメインにバックアップドメインコントローラを追加する権利を持つ管理者名とパスワードを指定する必要があります。
	コンピュータ名 (C): <input type="text"/>
	ドメイン (D): <input type="text"/>
	管理者名 (A): <input type="text"/>
	管理者パスワード (M): <input type="password"/>
<div>&lt; 戻る (B)    次へ (N) &gt;</div>	

手順(6)で「スタンドアロン サーバー」を選択した場合には、ドメインに所属するかワークグループに所属するかを選択し、ドメイン名かワークグループ名を入力します。ドメイン名は、ネットワーク上に存在するプライマリ ドメインコントローラのドメイン名である必要があります。また、ワークグループ名は、すでに存在するワークグループ名(そのワークグループに所属します)かネットワーク上で一意のワークグループ名(新規のワークグループになります)を入力します。

Windows NT Server セットアップ	
	コンピュータをワークグループまたはドメインのどちらに参加させるかを選択し、その名前を入力してください。どちらを選択すればよいか、あるいは入力する名前がわからない場合は、ネットワーク管理者に相談してください。
	コンピュータ名 (C): <input type="text"/>
	次のメンバー
	<input checked="" type="radio"/> ワークグループ (W): <input type="text"/>
	<input type="radio"/> ドメイン (D): <input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> コンピュータアカウントの作成 (R):
<div>&lt; 戻る (B)    次へ (N) &gt;</div>	

## (18) 再起動

再起動を促す画面が表示されますので、コンピュータを再起動します。



以上で Windows NT Server セットアップは終了です。

## 4.2 セットアップ後の状態

Windows NT Server セットアップが終了した時点での本サーバの環境は、次の通りです。お使いのネットワーク環境などに合わせて、設定を変更してください。

項目		説明
インストールドライブ		C ドライブ
ドライブの容量		4 GB (C ドライブ)
ファイルシステム		NTFS
ディレクトリ名		WINNT
ディスプレイ の設定	解像度/色数	800×600 ピクセル/65536 色
	リフレッシュ レート	60Hz ※接続されたディスプレイによって異なります。
保守区画 (メンテナンス区画)		保守区画のサイズ : 100MB または 150MB 保守サポートサービスをご利用される場合は、保守区画が必要となります。詳細は、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』を参照してください。



## 4.3 システム修復ディスクの作成

Windows NT Server セットアップ後または、システム構成の変更後に、「システム修復ディスク」を作成してください。万一、Windows NT システムファイル、システム構成、およびスタートアップ時の環境変数などが損傷を受けた場合は、システム修復ディスク上に保存した情報をつかって、これらを再構築できます。

### ■ 用意するもの

- ・ 2HD のフロッピーディスク 1 枚（購入してください）

- (1) フロッピーディスクに「Windows NT システム修復ディスク」というラベルを貼り、フロッピーディスクドライブにセットします。
- (2) [スタート]をクリックします。  
[スタート]メニューが表示されます。
- (3) [ファイル名を指定して実行]をクリックします。  
[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが表示されます。
- (4) [名前]ボックスに次のように入力し、[OK]をクリックします。  
Rdisk  
[修復ディスクユーティリティ]ダイアログボックスが表示されます。
- (5) [修復情報の更新]をクリックします。  
「この操作を続行しますか？」のメッセージが表示されます。
- (6) [はい]をクリックします。  
「システム修復ディスクを作成しますか？」のメッセージが表示されます。
- (7) [はい]をクリックし、次の画面で[OK]をクリックします。  
フロッピーディスクのフォーマットが始まり、システム修復ディスクが作成されます。  
作成が終了すると[修復ディスクユーティリティ]ダイアログボックスが表示されます。[OK]をクリックします。
- (8) [終了]をクリックします。

## 4.4 セットアップ後の設定

これまでの作業で、基本的な設定は完了していますが、運用に入る前に、以下の設定を行ってください。

操作の詳細については、『ファーストステップガイド』を参照してください。

### (1) イベントログの削除

管理ツールのイベントビューアを起動し、[ログ]メニューの[すべてのイベントを消去]を選択して、イベントログを削除します。

### (2) ライセンス モードの設定

本 Windows NT Server モデルでは、Windows NT Server のライセンス モードを「同時使用ユーザ数:10 同時接続」に設定してあります。ライセンス モードを変更される場合には、管理ツールのライセンス マネージャで行います。操作の詳細については、『Windows NT Server コンセプト アンド プランニング ガイド』を参照してください。

その際、「Windows NT Server クライアント アクセス ライセンス」を別途購入する必要があります。

### (3) 各種管理ソフトウェアのインストール

各種管理ソフトウェア (SCSI アレイコントローラカード管理ツール/サーバ監視ソフト/TapeMaintenance Checker など) のインストールについては、添付の『取扱説明書』、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の手順に従って行ってください。

### (4) 各種アプリケーションのインストール

各種システム診断支援ツール (FM Advisor/PROBEPRO/DSNAP) のインストールを行います。アプリケーションのインストールは、添付の『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の手順に従って行ってください。

## (5) ファイルシステムについて

セットアップ完了後ファイルシステムが NTFS に変換されていない場合には、コマンドプロンプトを起動し、コマンドライン上で次のコマンドを入力します。

```
c:\>CONVERT C: /FS:NTFS /V
```

コマンドラインに、次のメッセージが表示されます。

ファイルシステムの種類は FAT です。  
CONVERT で C: ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか (Y/N) ?

【y】キーを押すと、次のメッセージが表示されます。

次回のシステム再起動時に、変換は自動的に実行されます。

メッセージを確認後、再起動してください。

## 4.5 サービスパックの適用

本体に添付されている **Windows NT Server** のパッケージには、追加／修正モジュールを組み込むためのサービスパックまたはオプションパックが同梱されています。

また、インストールタイプはサービスパックをインストールしています。このサービスパックより新しいサービスパックが提供されている場合には、サービスパックまたはオプションパックの **README.TXT** を参照の上インストールしてください。

## 4.6 Windows NT Server の再インストール

これまでの操作の途中で、システムに影響のあるミスがあった場合などには、Windows NT Server の再インストールが必要になります。

### ■ 用意するもの

- ・ Windows NT Server 4.0 CD-ROM Disc1
- ・ Windows NT Service Pack
- ・ サーバ本体添付の「セットアップディスク」
- ・ 簡易セットアップツール(ServerWizard または ServerStart)の CD-ROM
- ・ 『ファーストステップガイド』
- ・ サーバ本体添付の『取扱説明書』
- ・ サーバ本体添付の『PRIMERGY ソフトウェアガイド』

### ■ メンテナンス区画の作成

サーバ保守用アプリケーションをインストールするためのメンテナンス区画を、簡易セットアップツールの CD-ROM から作成します。

メンテナンス区画から本サーバを起動することによって、各ユーティリティを利用できます。

また、保守サポートサービスをご利用される場合は、メンテナンス区画が必要となります。詳細は、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』を参照してください。



#### ポイント

再インストールを行う場合で、かつメンテナンス区画を作成しない場合は、プレインストールされているメンテナンス区画を削除してください。メンテナンス区画の削除方法については、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』を参照してください。

## ■ Windows NT Server のインストールについて

Windows NT Server のインストールは、『ファーストステップアップガイド』を参照し、必ず本体に添付の『取扱説明書』のソフトウェアのインストール、または、『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の手順に従ってください。

**注意** 簡易セットアップツールを使用せずに手動でインストールを行う場合、必ずセットアップディスクから起動してセットアップを行ってください。OS の CD-ROM から起動した場合、インストール中にトラブルが発生する可能性があります。

## ■ OEM 情報のインストール

サポート窓口などの情報を見るためには、OEM 情報のインストールが必要です。以下の手順で OEM 情報をインストールしてください。

CD-ROM ドライブを D に設定している環境を前提に説明しています。ご使用の環境に合わせてお読み替えてください。

- (1) CD-ROM ドライブに簡易セットアップツールの CD-ROM をセットします。
- (2) [スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[コマンド プロンプト]をクリックします。
- (3) 次のように入力し、それぞれ【Enter】キーを押します。

d:

oemcopy

画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。



### ポイント

インストールしたサポート情報は、以下の手順で見ることができます。

- 1) [スタート]－[設定]－[コントロールパネル]をクリックします。
- 2) 「システム」をダブルクリックし、起動させます。
- 3) 「全般」タブの[サポート]情報をクリックすると、サポート情報を見ることができます。

# 付録

---

## 付録 1 メモリダンプについて

Windows NT Server をご使用になる場合、メモリダンプを取得できない構成があります。メモリダンプの取得可能なメモリ容量を以下に示します。

メモリダンプの取得について詳しくは、本体添付の『取扱説明書』を参照してください。

### ■ メモリダンプをシステム区画に取得する場合

搭載可能なメモリ容量＝（[システム区画サイズ]－[インストールサイズ]）／2

→この値を超えない実際のメモリの組み合わせ

なお、インストールサイズには、ページングファイルのサイズは含みません。

### ■ メモリダンプをシステム区画以外に取得する場合

搭載可能なメモリ容量＝[システム区画サイズ]－[インストールサイズ]

→この値を超えない実際のメモリの組み合わせ

なお、インストールサイズには、ページングファイルのサイズは含みません。

## 付録 2 セットアップディスクの作成

### ■ Windows 2000 Server のセットアップディスクを作成する場合

#### [用意するもの]

- ・ Windows 2000 Server CD-ROM
- ・ フォーマット済みで空の 2HD フロッピーディスク 4 枚
- ・ CD-ROM ドライブが使用できるマシン

(1) OS (Windows NT/Windows 2000 等)を起動し、CD-ROMドライブに Windows 2000 Server CD-ROM をセットします。

(2) [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。

(3) 名前ボックスに以下を入力し、[OK]をクリックします(<D>には CD-ROMドライブのドライブ名を指定してください)。

32 ビットバージョンのプログラムを実行できる OS を使用している場合：

<D>:\bootdisk¥makebt32.exe

16 ビットバージョンのプログラムを実行できる OS 使用している場合：

<D>:\bootdisk¥makeboot.exe

(4) 画面の指示に従ってセットアップディスクを作成します。

---

PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き  
B1FH-6551-01-01

発行日 2002年 6月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。